



あなたのこころを届けます



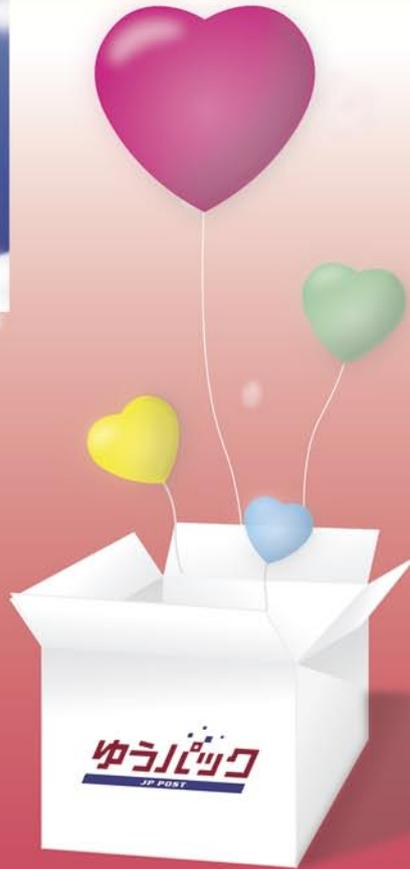
デザイン制作： 広島国際学院大学 情報デザイン



広島国際学院
創立81年



あなたのこころを届けます



あなたのこころを届けま



あなたのこころを届けます

最高水準の教育提供へ重ねる努力

特集 教育への取り組み	
教育ミニシンポジウム	2
本高校クリーンキャンペーン1年の経過	2
森学術奨励表彰を創設	3
卒業式	3
就任挨拶	4
本大学初の大型資格！国が認めた環境分析者	5
技術士第一次試験（電気電子部門）に合格して	5
4年間の成果発表・地域社会に貢献	
工学部・情報デザイン学部	6・7
つねに見据える社会の「いま」 現代社会学部	8
学生に、地域に夢を 短期大学部	9
高校から発信	10・11
瀬野川イルミネーション	12
本学院学生生徒の活躍	12
お手柄、空き巣現場押さえる	12
学内合同企業セミナー	13
本大学附属図書館をご利用ください	13
進路状況	14・15
森英子先生を偲んで	16
3町商工会青年部研修会・懇親会	16
今後の主な行事予定	16

瀬野川郵便局ポスターデザイン

情報デザイン学科 第1期生 呂守一制作
(平成20年3月卒業)



URL <http://www.hkg.ac.jp/>

教育への取り組み

広島国際学院大学は、学生の目線に立って「わかる授業」の創造に努め、よりよい講義を構築するため、教授手法や内容を日々に見直し、改善を進めています。一方の広島国際学院高校では、生徒自ら地域社会のために貢献したいとボランティア活動を始め、継続してきました。学業と生活の両面で学生・生徒の成長を促す本学院の取り組みを紹介します。

教育ミニシンポジウム

情報デザイン学部長 檜高 靖治

平成19年度教育ミニシンポジウムが3月5日実施されました。本年度は実績報告16件、次年度に向けた申請発表14件でした。シンポジウムでは発表者と出席の職員の間で活発な議論を行なって教育改善効果を学内に普及していくとともに、申請者に学内教育予算を重点配分し、教育の充実を促進しています。効果が顕著なテーマについては公的な補助金獲得へ応募しています。平成14年度にスタートしてから今日までに、各学科で大きな成果になっているテーマには「PICマイコンを用いた走行ロボットの製作」、「3次元CAM教育システム」、「修習技術者育成教育システムの完成と受験対策の実施」、「実践型ネットワーク関連技術者の育成とCCNA資格取得への支援」、「情報デザイン学科におけるデザイン教育(CG・アニメーション・映像作成)」といったものがあります。



教育ミニシンポジウム

平成20年度に工学部、情報学部を、それぞれ工学部総合工学科、情報デザイン学部情報デザイン学科に改組するのを機に教育方法、教養教育、専門基礎教育、専門教育、キャリア教育などのカテゴリーに分け、個々の職員の特徴ある取り組みを大きくまとめて、外部資金導入に対応できる形にしていきたいと考えています。



郊外での作業中

本高校クリーンキャンペーン1年の経過

= 1年間を振り返って =

保健環境部 瀬越 徹

昨年1月24日に『国際学院高校クリーンキャンペーン』が始まって1年が経ちました。いつも通っている地域のために「何か行動をしたい」。そんな思いを持ち続けていた生徒たちが、ゴミのないきれいな町づくりを目指し自発的に行動を起こしたボランティア活動です。

活動内容は各クラスが年に1度、全員ゴミ袋と火箸を持って町内各所に出かけ、割り当てられた授業時間50分の間にゴミを収集して持ち帰るといふものです。月末等にある全校大掃除の際に、保健委員が行う町内清掃と合わせると、年間約50回地域の清掃活動を実施していることとなります。最近ではJR海田市駅にも出向くなど、清掃区域を拡大しています。生徒たちは驚くほどたくさんのゴミを毎週集めてきますが、その中でも最も多いのはタバコの吸い殻です。

この活動を通して、生徒一人ひとりが環境保護への自覚を持つようになりました。また、継続して活動することで海田町の住民の方々にもサポーターとなっていただけるようになり、「ありがとう」と感謝の声を掛けてもらえる機会が増えました。これで生徒のボランティアに対する意識も一層向上したように感じられます。

来年度以降も『国際学院高校クリーンキャンペーン』を継続していきたいと考えています。

あつという間の1年間

生徒保健委員長 普通科 平本 哲也

僕はこの1年間保健委員長を務め、『国際学院高校クリーンキャンペーン』にはとりわけ思い入れがあります。出発点は「お世話になっている地元へ何か恩返しが出来ないか」という考えでした。2006年12月に生徒保健委員会で実施を決め、直ちに翌1月から開始しました。週1度の実施日には、倉庫からゴミ袋・火箸などを持ち出し中庭に並べて担当クラスが集まるのを待ちました。わずか10分間の休憩時間中に行う早業の後は、生徒たちが頑張ってくれることを期待しながら授業に戻りました。将来は看護師になりたいと思っていますので、1年間のボランティア活動は貴重な体験になったと思います。



「RCCおはようラジオ」インタビューを受ける平本君

森学術奨励表彰を創設

学長 今村

あきら
詮

本大学および本短大において、学業・人物ともに優秀でかつ健康である学生に対して、永年にわたり森奨学金を寄付していただいた森英子先生が、本学院で教育に全身全霊を傾けて没頭されている教員が多くいることを理事長からお聞きになり、そういった教員の教育等になにかお役に立てていただきたいということで、新たに奨励金の寄付を申し出ていただきました。本大学および本短大では、この大変有難い申し出を受けて、このお志を一層実のあるものにするために、森学術奨励賞の規則を定め、顕著な功績のある教育の取り組みに対して、この森学術奨励賞の表彰を行うことになりました。

今年度はその第1回目の募集が行われました。その結果、4件の応募がありましたが、厳正な審査の結果、栄えある第1回目の受賞者として、自動車短期大学部二級講習会事務局(事務局長 野吹幸男准教授)の永年にわたる「自動車2級整備士国家試験のための総合的な教育の取り組み」が選ばれました。この取り組みは、整備士国家試験に全員を合格させるために、習熟度に対応した組織的な教育に加えて、合格圏に達していない学生に対しては土日もない教員の熱情溢れる個人指導を組み合わせたシステムで、まさに究極のきめ細かい教育と言えます。その成果が毎年为国家試験の合格率に表れ、100%またはそれに限りなく近い結果が得られています。まさにこの森学術奨励賞を受賞するのにふさわしい教育成果であるといえます。

この森学術奨励賞のためにご寄付いただいた森英子先生に、あらためて深い感謝の念を表わすものであります。



学術奨励表彰



卒業証書授与式

【高校】

長く厳しい冬が過ぎ、ようやく春めいてきた3月1日(土)、高等学校体育館にて第59回卒業証書授与式が挙行されました。434名の卒業生に長野政義校長は「卒業式は将来への夢や希望に胸ふくらませ、自覚と決意を新たにたくましく生きるための大事なスタートです。優しさや温かさの心を持って自分に正直に、また失敗や挫折に負けることなく、素晴らしい人生を歩んでください」とはなむけの言葉を贈りました。同月末を以て退任する長野校長はさらに「頑張っているみ

なさんや素晴らしい先生方のおかげで充実した学校生活を過ごせ、爽やかな満足感に包まれて卒業できることを嬉しく思います。ありがとう」と感謝の言葉で締めくくりました。

【大学・短大】

3月19日(水)、中野キャンパス体育館で平成19年度卒業証書・学位記授与式が挙行されました。前夜からの雨が降り続く中、工学部126名、情報学部78名、現代社会学部51名、修士課程13名、短期大学部112名と専攻科3名、計383名の卒業生が一堂に会し、喜びを分かち合いました。

今村詮学長は式辞で「社会が大きく変動する中、一人一人の生きがいに根ざした小さな行動を積み重ねて、よりよい社会の規範を作り、多くの人たちが平和で幸せに暮らせる日本および地球を作っていくられるよう期待します」と述べ、若人の未来を祝福しました。卒業生たちの表情も、懸命に学んできた達成感と新たな旅立ちへの希望に満ちていました。



卒業証書・学位記授与式

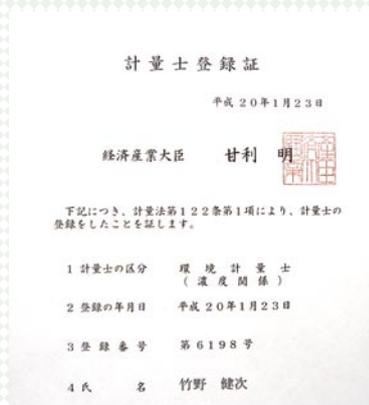
卒業式

本大学初の大型資格！ 国が認めた環境分析者

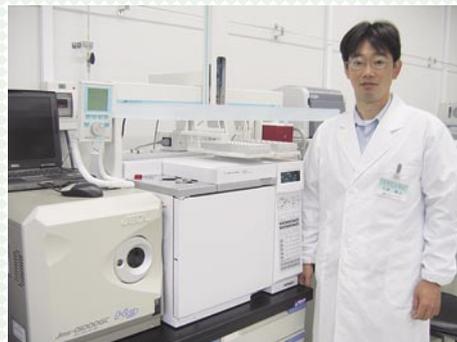
竹野健次 講師(工学部 総合工学科)、環境計量士国家資格を取得

近年、地球温暖化による砂漠化、海面上昇など、環境に対する関心は非常に高くなっています。また、ダイオキシンや環境ホルモン、室内空気汚染(シックハウス)など新たな化学物質による影響が問題となっており、これまで測定が困難であった極微量の有害物質を計量する高度の分析技術が要求されています。このような社会情勢の中、竹野健次講師が本大学で初めて環境計量士に認定されました。

環境計量士とは、経済産業大臣が登録する国家資格で、現在、数多くの資格がある中、環境に関する資格では最もレベルが高いものと位置づけられています。この資格を有し、登録された者は、その分析した値が国から認められるという権威あるものです。



計量証明書



環境計量講習(つくば産総研)

この資格を取得するには、一般に計量士国家試験に合格し、計量証明事業に関する一年以上の実務経験が必要です。試験では分析化学、環境法規、計量管理など幅広い知識の有無が問われると同時にレベルの高い問題が出題され、合格率は15%前後の難関試験と言われています。竹野講師は多忙な通常業務の中でこの試験に挑戦し、平成19年の国家試験(合格率11.8%)に合格。さらに、つくば市の独立行政法人産業技術総合研究所で行われる環境計量講習を修了し、今年1月、経済産業大臣より環境計量士〔濃度関係(化学分析系)〕の登録を受けました。環境計量事業所(環境分析会社)で企業経験のある竹野講師ですが、この資格取得を機に、環境教育者として今後ますます期待がかかります。

技術士第一次試験(電気電子部門)に合格して

工学部 総合工学科 講師 渡邊 真彦

皆様は(技術士)という資格をご存知でしょうか? 文部科学省が管轄している国家試験により資格を与えられた「高度な専門知識を持つ技術者」という定義がなされており、有資格者は技術コンサルタントや入札業務で重要な役割を担っています。またこの技術士の補佐を行う、いわば技術士の卵として(修習技術者)という資格があり、私が今回合格したのはこれに相当します。

バイオ・リサイクル専攻では従来「有資格者による学生の資格取得の応援」を念頭に教育が行われてきた経緯があります。試験の特性・傾向を教員が把握するのはもちろんですが、受験という目標を学生と共有することで、学生のモチベーションが確実に向上するのを目の当たりにしてきました。本専攻では、在学中に目指す最高の目標として修習技術者資格を掲げており、その指導の為に環境部門、生物工学部門等での資格を取得した教員が複数おられます。現在私はリサイクル分野の講義等を担当しているのですが、この分野では電気電子関連の知識が非常に役立ちます。幸い数年前まで電気工学を教えておりましたので良い機会と考え受験し、無事合格することが出来ました。とはいえ準備時間が余りとれず、試験直前に学生時代の一夜漬け勉強を思い出し一人で苦笑しながら勉強をしたのも事実ですが、今は良い思い出です。



渡邊先生

技術関連の様々な分野で試験を受ける事ができますし、実際の試験では大学時代に学んだものが満遍なく出題されており良質な問題でしたので、他の教員の方々も是非チャレンジされてみては如何でしょうか。試験に苦しめられる学生達の気分を味わえば、少しはやさしくなるかも?



アニメから車まで、多彩な作品が展示された

第1回卒業制作選抜展

情報デザイン学科

情報デザイン学科第1期卒業生による卒業制作選抜展が2月29日～3月2日の間、本大学立町キャンパス、及び一部広島アリスガーデンにて催されました。

デザイン系の学科は学生の卒業制作の成果を展示し、出展学生のみならず、学科のレベルを公にし、広く外部から評価を受けることが普通です。第1期生ですので、初めての卒業展です。大学から経費補助も頂いて、卒業生による実行委員会(上原泰武委員長ほか7名)が主体となって実施しました。

立町キャンパスでのオープニングに際し、情報デザイン学科の教育講演会にたびたびおいで頂いた名古屋大学大学院情報科学研究科・茂登山清文先生に「情報デザインの可能性」と題して、情報とデザインの可能性について基調講演をして頂きました。

展示は1)デザイン作品(地域の郵便局で採用されたゆうパックポスター、企業の委託によるもみじまんじゅうのパッケージなど)、2)アニメーション作品(人形アニメ、デジタル2D、3Dアニメ)、3)映像作品、4)ゲーム作品など、3年生による応援作品も含めて、サロン、ホール、講義室、セミナー室を利用して行いました。

なお、卒業制作展に向けて特別に企画事業を行いました。1)地域の郵便局との連携による「ウインドウディスプレイデザイン」、2)広島市及び広島商工会議所との連携による企画「みんなで育てる広島宝City Map」の実施(中国新聞1月24日付報道)。3)エコカーのラッピングデザイン(バイオ・リサイクル学科と共同、広島アリスガーデンで展示。朝日新聞3月2日付報道)。

卒業展には関係者のほか、高校教員、高校生、プロのデザイナー、会社社長、通りがかりの旅行者など118名の来訪者があり好評でした。お忙しい中、42名がアンケートに記入してくださいました。ご協力頂いた各位に深謝します。

なお、作品の一部はふくやま美術館で開催の広島県・岡山県大学美術系学生の祭典HOPES2008(3月16日～3月23日)に出品されました(中国新聞3月17日付報道)。

卒業研究発表会

工学部・情報学部『卒業研究発表会』が、平成20年2月16日(土)の午後、立町キャンパスにおいて開催されました。今回は、電気電子工学科、機械工学科、バイオ・リサイクル学科および情報工学科から2件ずつ、合計8件の発表がありました。4年生で行う卒業研究は、配属した研究室の特徴的なテーマに関して研究を行うもので、課題を見出し、参考文献を調べ、実験や解析を行い、最後は論文としてまとめます。これに全力を注いできて学科の代表として発表する学生にとって、学部全体の場で発表する機会を得たことは、たいへん名誉なこと、将来の糧ともなるものです。



緊張感に満ちた質疑応答



自律分散型ロボットについて発表する石口君

今年度で第7回を迎え、学内行事として定着してきていますが、今回は新たに表彰制度を設けました。研究内容の理解度、講演発表の仕方および質問に対する応答の3つの観点で、複数の審査委員が評価しました。今回の発表者は、それぞれ指導教員の徹底した教育を受けており、全員がかなり高い評価を受けました。僅差の判定で、「自律分散型ロボットの研究」を発表した石口将大君(情報工学科)と「酵素添加による洗米排水成分の凝集・沈降特性とその機構」を発表した一瀬和紀君、津山力君(バイオ・リサイクル学科)が、最初の『優秀講演発表賞』を受賞しました。

○ 地域社会に貢献

「ケータイ・ネット時代の子どもと教育」をいかに考えるか

情報教育特別講演会実行委員会

近年、携帯電話やインターネットに関連する事件が多発する中、児童生徒の被害が深刻化しています。本人の認識や理性が乏しかったために加害者になっていたというケースも生じていますが、その人生を考えると結果的には被害者でもあります。対策として学校や諸団体による啓発活動等も行われていますが、機器の進化・複雑化が激しくモラルやマナーの面での対応が追いつかないのが実情です。

本大学は、従来から各学部によるさまざまな地域貢献活動の中で、情報に関連した講演会等も実施してきましたが、情報通信社会において子どもが巻き込まれるトラブルは、情報教育のみならず生徒指導にもかかわる課題であると理解しています。



ネット時代特有の問題に先生方も真剣



巧みな話術で聴衆を引きつける尾木先生

そこで、去る3月15日に立町キャンパスにおいて特別講演会を開催し、教育評論家の尾木直樹先生から「ケータイ・ネット時代の子どもと教育」という演題でお話を伺いました。主として広島市およびその周辺の小中高等学校の先生を対象にご案内しましたところ、県内各地から多数の応募をいただき、会場一杯の参加者の中で最新の状況や、教育関係者が踏まえておかなければならない考え方について多面的に情報の提供をいただきました。講演終了後の意見交換会においても、小中高大の有志による情報交換で盛り上がりました。

後援いただいた広島県教育委員会、広島市教育委員会、およびこの講演会に協力してくださった参加者の皆様に感謝いたします。

社会人・学生、ともに難関突破を目指す

第3種電気主任技術者試験特別講習会

工学部 総合工学科 教授 松尾 邦昭



熱心に講義する著者

国家資格「電気主任技術者」試験は、1種、2種、3種とあり、科目も「理論」「電力」「機械」「法規」から成っています。言うまでもなく、1種は非常にレベルが高く取得がたいへん困難です。他方、3種も近年難しくなり、特に「理論」の分野は数年前と比較して大きく変わり、この資格に挑戦する者の最大の難関科目となっております。事実、試験会場に行っても「理論」の分野のみを受験する者が多く、残りの科目「電力」「機械」「法規」は比較的安易に合格するようです。

このような状況に鑑み、本年2月から、「理論」の分野に限定し一般社会人を対象とした講習会を立ち上げました。クラスは、本大学学生も社会人に混じって受講しており、現在、一般社会人8名、学生8名で構成されております。講習は毎週火曜日18:30より20:00まで、わずか90分の講義中、過去問題、予想問題の解法に大部分の時間を当てております。ちなみに受講料金は一日1,000円で、参加者はたいへん熱心に受講されます。学生と社会人の混合クラスであり、その中でお互いよい刺激を受けながら学習するという雰囲気が見られ、クラスは活気に満ちており、講師(私)も「始めてよかったな」との思いです。

本講習は7月末までの予定ですが、途中からの受講も可能ですので、本記事をお読みになって「受講してみたい」と思われる方は是非御参加下さい。

(問い合わせ先：地域連携センター TEL 082-820-2680)

つねに見据える社会の「いま」

現代社会学部



人を裁くことの重みを実感

模擬裁判を体験？ 裁判員制度に向けて

「裁判員制度」とは、平成21年5月までに開始予定の新たな刑事裁判の形です。市民からランダムに選ばれる「裁判員」が、重大な刑事裁判1件につき6名参加し、3名の裁判官とともに「評議」を行なって判決を導きだします。

1年生を対象としたプレゼミでは、合同企画として去る1月16日に「裁判員制度」についての講義を実施しました。広島地方裁判所から片平書記官と奥本事務官をお招きし、初めに裁判員制度に関する講義を受けました。その後学生6名が裁判員となり、台本を使って模擬裁判と評議を体験。模擬裁判で示された証拠をもとに、被告人の有罪・無罪について意見を出し合いました。

最後に片平書記官から「疑わしきは被告人の利益に」という刑事裁判の原則が説明されると、被告人の人生を左右する裁判員の立場となることの重みを各自が感じたようでした。

たてまち公開セミナー

「みんなでプロデュース：広島アニメーションをつくりたい!」を開催

3月16日(日曜日：午後2時～午後4時30分)立町キャンパスでアニメーション文化をテーマとした公開セミナーが開催されました。このイベントは昨年開催の「広島アニメーション文化シンポジウム」の続編です。ゲストに「ONE PIECE ワンピース」などの人気アニメーションのプロデューサー清水慎治氏、広島でアニメーション文化の基盤づくりにご活躍の百々隆雄氏、山田智浩氏をお迎えし、会場の参加者と広島・瀬戸内海・中国地方発のアニメーションづくりの可能性について活発な議論が展開されました。



広島発アニメの可能性を探る

第1部 講演「人気アニメーションのプロデュース

～ゲゲゲの鬼太郎からONE PIECEワンピースまで～

講師：清水慎治氏（東映アニメーション株式会社 企画部長兼シナリオ室長）

第2部 トークセッション「広島アニメーションを作るために必要なこと」

対談者：百々隆雄氏（広島アニメーションビエンナーレ2008実行委員会事務局長）

対談者：山田智浩氏（代々木アニメーション学院広島校校長）

司会進行：谷口重徳（現代社会学部准教授）

第3部 意見交換会

みんなでプロデュース「広島アニメーションの『オレ設定』」

卒業研究発表会

2月8日、現代社会学部の卒業論文発表会が立町キャンパスで開催されました。発表者はこれまでで最多の13名。テーマは、四国アイランドリーグや地方競馬等、「地方」にこだわったもの、災害時の福祉避難所、アニマルセラピーといった、従来の福祉の枠組ではとらえきれない対象に目を向けたもの、そして、ライトノベル、ゲームセンターなど、現代の若者をひきつけている世界を取り上げて、現況をつまびらかにしたものなど多彩でした。今年度の報告の特徴は、聴衆をひきつける工夫のある報告が複数あったこと。実際に現地でいかに調査したのかなど、フロアから発表者への質問も多数出て、来年度以降、卒業論文に取り組むことになる在学生にとっても、参考になる有意義な会となりました。



工夫をこらした多彩な報告がなされた

第1回森学術奨励賞受賞に際して

本短大における国家二級自動車整備士登録試験の受験対策は、学生の自主勉強とそれを支援する各種取り組みとのセットで行っていますが、全員合格を目指すため、長年に亘り改善を重ねて取り組みの強化・徹底化を図って来ました。主な内容は、①実力を知りそれを伸ばすための教材作成とその改善。②最大100回にも及ぶ模擬試験で実力を確認し、弱点を克服する機会の提供。③個人指導による学習や理解支援と学習成果の出ない学生への特別勉強会実施(終盤土日なしの連日)などです。

この支援活動に、全職員が継続して取り組んできた結果、最近では毎年100%近くの合格率(平成17年度には、100%達成)を維持し、第三者評価機関からも高く評価されました。また付随的成果として、学生が「学びの面白さを知る」とか、職員・学生同士の密度の高い触れ合いを通して「人間的な成長をする」ことにも繋がっています。このことは、国家試験直後に行われる卒業パーティで「弾けるような学生の喜び」や「学生からの職員への感謝」として示され、関係者の苦労を忘れさせる無償の報酬ともなってきました。そして、このたび新たに設けられた森学術奨励賞の第1回目の表彰対象に選ばれたことで、われわれの活動を見守り、応援していた方々が居られたことを知り、大いに励まされると同時に、改めてこれからの活動進展に対する勇気をいただいた次第です。

ここに本短大一同、森先生のご厚情に深く感謝申し上げると共にご遺志に報いていくことを誓います。



模擬試験を繰り返し、実力を伸ばす

企業の採用試験がスタート! 一学内会社説明会開催

就職課長 川口 修三



企業が求める人材とは?

来年春の卒業生を対象とした「学内会社説明会」が2月1日から3日間、隣接する現代社会学部の300人教室で実施されました。卒業まで1年有余ありますが、学生の就職戦線がスタートを切りました。

特に今年の傾向としては、メーカーから6社の採用担当が説明会に来られ、各社のクルマの特徴、環境対策、整備技術検定制度、そして分科会で広島県以外の学生に対して出身県の採用状況などを話されました。また、各ディーラーなど約56社がそれぞれの会社概要、社員教育、福利厚生などを学生の興味のある事に時間を割いて説明されていました。

ほとんどの学生がスーツに身を固め、胸に希望を膨らませて臨んだことでしょう。採用試験が迫っていることから熱心に耳を傾けるなど真剣そのものでした。説明会が終了すると、志望する企業に早々と採用試験の必要書類を渡す学生も見受けられ、その意気込みに感心しました。好景気を反映して求人数も昨年に比べ増えましたが、ある採用担当者は「向上心とやる気のない学生は例え採用数が不足しても採用しない」とのこと。当然と言えば当然で、これから就職する学生には耳は痛いかも知れませんが、頑張っって一日も早く希望する会社に決まることを祈っています。

(自動車短大部指定求人企業数：233社・・・平成20年3月19日現在)

オープンキャンパスを地域に開放、かよこバス展示も

かよこバス招聘プロジェクト

今から103年前に国産バスとして横川一可部間を日本で初めて営業運転を行ったバスとして有名な「かよこバス」が横川商店街とかよこバス活用委員会のご協力ですべて7月29日予定のオープンキャンパスにやってくることになりました。このバスは2004年3月に横川・可部地域の人々や広島市立大学、マツダOBなどの大勢のボランティア活動で復元されたものです。この活動には横川商店街の要請を受けて本短大の益永教授がシャシの基本設計を、本大学バイオ・リサイクル学科の山崎准教授がボディの塗装担当として携わり、本学院と関係が深いものがありました。本年度の年間計画を立案する過程で地域活動の一環としてオープンキャンパスを地域に開放しこのバスを招く案が持ち上がった本短大と、完成後4年を経過し、点検整備や補修が必要と考えていた活用委員会のニーズが一致して実現の運びとなったものです。詳細は計画中ですが車検相当の点検整備を行って当日、広島のバスの歴史資料として高校生や保護者および地域の人々に広く展示することを考えています。

注)かよこバス：可部と横川から一文字ずつ取った愛称。復元当時は「横川レトロバス」と称していた。



活用委員会の皆様と本短大関係者：2月23日、横川駅前広場にて



保護者(中央)も飛び入り参加



無事完走 会心の笑み

校内マラソン大会 =33

厳しい寒さの続いた今年の冬でしたが、その日だけは願ってもない快晴。微風の暖かい一日でした。2月11日(建国記念の日)、絶好のマラソン日和に恵まれ冬期メインイベント・校内マラソン大会は開催されました。会場は昨年同様、坂中学校をお借りいたしました。

9時30分から開会式を行い、9時55分、学校長の号砲とともに2学年男子が元気よく飛び出して行きました。ついで、5分後に1学年男子、さらに、2学年女子、1学年女子の順にスタートしました。コースは森山ジョギングコース(坂町横浜・1周4.5km)。半島のように広島湾に突き出た地形を周回するコースですので、途中で瀬戸内の景観が目に入りますが、さすがにそれを楽しめた生徒はいなかったでしょう。

男子はコースを2周(9km)、女子は1周して坂中学校グラウンドのゴールに帰ってきました。今回は飛び入りランナーとして1学年の保護者も参加され、母子対決として話題となりました。11時15分に最後のランナーがゴールし、参加者全員無事完走。

早春の暖かい日差しが降り注ぐ閉会式でお互いの健闘を讃え合いました。生徒会執行部・体育科・全生徒の力を結集できたすばらしい学校行事となりました。

校内献血について

保健環境部 瀬越 徹

毎年1月に実施している「校内献血」に、今年度も多くの生徒が協力してくれました。今年から対象を2・3年生のみの実施としたことで全体数は減ったものの、2日間で合計145名の受付があり、104名の生徒が献血しました。日本赤十字社の関係者は、輸血用の血液が特に減少するこの時期に毎年多くの実施者がいること



今年も大勢の生徒が協力した



ただいま献血中

で本高校にたいへん感謝されています。また、本高校の保健教育の成果を反映しているのでしょうか。朝食を食べて来ない生徒が他校に比べ際だって少ないという嬉しい報告もいただきました。

生徒たちが卒業し社会に出てから、様々な機会をとらえボランティア活動に参加してくれることを期待しています。校内献血がその出発点になってくれれば幸いです。来年度以降も継続して実施したいと思います。

初めての江田島合宿 カッター訓練も

硬式野球部顧問 竹上 力



海上航海中

1月下旬、チームの「和」を目的に、硬式野球部初となる「国立江田島青少年交流の家」での合宿を1泊2日にわたり実施しました。

合宿初日、生徒44名と引率教員4名は、学校から約2時間かけて江田島青少年交流の家に着。昼食までグラウンドでランニングなど軽い運動を行いました。午後からカッター訓練が始まり、指導員がまず「命に関わる訓練である。よってこれから命令口調で指示する」と挨拶されました。整列の仕方、座り方、立ち方、聴き方など指導員の厳しい号令とともに動いていく生徒たちの表情は、これまで見たこともないほど凛々しく引き締まっていました。約2時間に及ぶ厳しい訓練の後、「初めてのカッター訓練にしては、県内の他校と比較しても優秀な方である」と指導員からお褒めの言葉を頂きました。

2日目は好天に恵まれ、宮島の鳥居まで往復32kmのカッター航海がいよいよ始まりました。波・潮の動きなど昨日の訓練とはまったく異なった条件の中、生徒たちは全員汗だくで力漕。約3時間かけて宮島の鳥居にたどり着き、全員艀を立てて鳥居の下をくぐり抜けました。その後宮島に上陸して昼食を取り、江田島への帰路につきました。館長さんは「商船学校を除き、宮島の鳥居へたどり着いた高校は初めてである、江田島青少年交流の家の歴史に残ることだ」と高く評価してくださいました。

カッターは自然を相手とする気力・体力を要するスポーツであるとともに、漕ぎ手の「和」が重んじられます。生徒たちにとっても貴重な体験となりました。



陸上での訓練中

全国に羽ばたけ!!

ゴルフ部1年間の活動

ゴルフ部顧問 橋田 源太郎

創部20年という記念の年に男女とも全国大会出場を果たし、素晴らしい成績を残すことができました。中でもこの3月に普通科を卒業した法崎佳成子さんは、全国高校ゴルフ選手権(高知県土佐カントリークラブ)で8位、権威ある日本ジュニアゴルフ選手権(埼玉県霞ヶ関カントリークラブ)でも6位に入賞。国民体育大会(秋田)では広島県代表に選ばれ、8位入賞の立役者となる活躍を見せました。また、総合システム科2年の成松亮くんも好成績を収めました。



秋田わかさぎ国体でスタートのティショットを打つ法崎選手

本高校ゴルフ部は現在部員12名。女子は中国地区では部員数が最も多く、各大会でも注目されています。一方男子については、今年度、すばらしく能力の高い新入生が入学して来ますので、少しずつ全国制覇の光が差して来始めたように思います。2008年度の目標として、まずは団体戦全国大会へのアベック出場を目指しています。ご声援よろしくお願いたします。



広島県高等学校ゴルフ選手権新人戦優勝メンバー(12月26日・郷原カントリークラブ)



冬の夜を鮮やかに彩った瀬野川イルミネーション

瀬野川イルミネーション

現代社会学部 准教授 池本 良教

昨年12月15日より27日までの期間、本大学中野キャンパス近くの瀬野川河畔ほとり広場で「第1回瀬野川イルミネーション」が開催されました。瀬野川を地域住民の憩いの空間として活用し、水辺の空間にふさわしいイルミネーションを実施することにより、地域住民の郷土意識の高揚と交流の促進を図ることなどを目的として、本学院と地域住民や地元企業、行政の協働による実行委員会が取り組んだイベントです。こぢんまりとしたイルミネーションの周りには、子どもたちや家族連れ、若者たちのほのぼのと暖かい光景が広がっていました。本学院からは本高校と本大学の

80人を超える生徒・学生と職員が、企画、設営、オープニング・イベントに関わりました。点灯式には3,500人の市民が参加し、本大学の学生バンドのオープニング演奏に始まったステージ企画や、本高校理研部の手作りクッキーとコーヒーサービス、本大学の留学生による水餃子や研究室からはポン菓子やロボットの実演など、地元の皆さんの焼きそばやうどんなどの模擬店とあわせて大いに盛り上がりました。本大学の授業の一環としてアンケート調査も行われ、本高校・本大学の地域への貢献と教育・研究の機会として貴重な場となりましたが、本高校理研部の生徒による元気のいいサービスや、本大学学生会の手際のよい会場設営はとくに好評で、第2回の開催に向けて今から大きな期待が寄せられています。

本学院学生生徒の活躍

— 栄光を称える —

平成19年度も、本学院の学生や生徒がサークル、部活動で大活躍し、数々の賞を獲得しました。主だった成績をご紹介します。



春季リーグで準優勝した軟式野球部



秋田国体で入賞した自転車部の野中君(左)とレスリング部の沖本君

【大学・短大】平成19年度部活動成績

サークル名	受賞者	出場大会名	成績
バスケットボール	団体	2007年度広島県学生バスケットボール春季リーグ戦	優勝
バスケットボール	団体	2007年度広島県学生バスケットボール大会新人戦	優勝
バスケットボール	団体	2007年度広島県学生バスケットボール選手権大会秋季大会	優勝
軟式野球	団体	広島六大学学生軟式野球春季リーグ戦	準優勝
自動車(短大)	団体	中四国学生ダートトライアル大会	3位

【高校】平成19年度高校部活動成績優秀者理事長表彰

部名	個人・団体別	受賞者	出場大会名	成績
自転車	個人 ロード・レース	野中 亀馬 (3年)	第62回国民体育大会秋季大会	2位
レスリング	個人グレコローマン	沖本 直人 (3年)	第62回国民体育大会秋季大会	5位
ゴルフ	個人 女子の部	法崎佳成子 (3年)	第13回全国ジュニアゴルフ選手権大会	6位
吹奏楽部	団体 吹奏楽の部	高等学校の部	第9回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜	連盟会長賞

お手柄、空き巣現場押さえる

河部 友彦さん (情報デザイン学科 3月卒業)

アルバイト先からJR中野東駅に程近い下宿に帰宅した河部さんは、部屋からCDやDVDなどが持ち出されているのを発見。空き巣被害として直ちに警察に届け出ました。約1ヵ月後、同じ下宿で部屋を物色している男に遭遇。河部さんの通報で空き巣は御用となりました。河部さんには後日、海田警察署長から表彰状が手渡されました。

河部さんは兵庫県姫路市の出身。CGデザイナー志望で、本学卒業後さらに大阪のデジタルハリウッドに進学します。「将来は映画の制作に携わるのが夢」と話していました。



表彰状を持つ河部さん

学内合同企業セミナー

学生部 就職課

現在の3年生の就職活動も本格的に始まりました。その幕開けとなったのが、広島県内の私立大学の先陣を切って、去る2月1日～2日の2日間にわたり開催された学内合同企業セミナーです。今回は前年度とほぼ同様に、2日間延べで企業102社、参加学生360名の参加を得て、緊張感が漂う中にも盛会となりました。工学部・情報学部・現代社会学部の3年生を対象とし、参加企業様の業種も製造業・電気通信工業・情報通信業・流通業等と広範囲にわたりました。

3年生は4・8月のガイダンス、9月の「キャリアデザイン」の講義・ガイダンス、12月のガイダンス・ビジネスマナー講座、1月のガイダンスを経て、準備を整えた上で当日を迎えました。そして、各企業の皆様から、時間を掛けて懇切な説明をお聞きし、より現実的に業界・業種・職種についての理解を深めたことと確信しています。

これを契機に、現在の3年生も前年と同様の高い内定率を実現できるでしょう。こうしたことも、多くの企業の皆様が本大学に対して深いご理解をくださった賜物だと思っています。心よりお礼を申し上げます。また、各企業様のブースに本大学の卒業生も見受けられ、多くの卒業生が社会で活躍している姿を拝見し、学生はもとより職員にとっても大変な励みとなりました。これらのことが、学生全員が一人ひとりの適性に合った進路を得られることに繋がるように、心から願っています。



企業も学生も真剣に！

本大学附属図書館をご利用ください

広島国際学院大学は、一般の方々に附属図書館を開放しています。県内にお住まい、または県内の事業所や学校に所属されている15歳以上の方(中学生を除く)であれば、どなたでも図書館をご利用いただけます。学生証や免許証等、住所・所属を確認できる物をご持参いただき、入館受付簿に記入の上ご入館ください。

【ご利用になれるサービス】

- ◆館内での閲覧
- ◆図書の出借(自動車短期大学部分館を除く)
- ◆館内での文献複写 モノクロコピー：30円、カラーコピー：100円

【図書の出借について】

図書の出借をご希望の方は、附属図書館利用申込書をご提出ください。数日後に図書館利用者カードを発行いたします。

- ◆貸出冊数 3冊以内
- ◆貸出期間 14日以内

※貸出できない資料…禁帯出ラベルの貼ってある図書・雑誌・ビデオ等の視聴覚資料

【開館時間】

		本館	現社分館	短大分館
通常	平日	8:30～18:50	9:00～17:50	9:00～16:50
	土曜日	8:30～13:00	9:00～13:00 (第2第4は休館)	9:00～13:00 (第2第4は休館)
休業期	平日	8:30～16:50	9:00～16:50	9:00～16:50
	土曜日	8:30～13:00 (第2第4は休館)	9:00～13:00 (第2第4は休館)	9:00～13:00 (第2第4は休館)

※休館日…日曜日・祝日・休業期の土曜日・創立記念日(11月1日)・年末年始
(変更もありますので、電話かホームページでご確認ください)

【お問い合わせ】

本館(工学部・情報デザイン学部) 〒739-0321 広島市安芸区中野6丁目20-1 TEL (082)820-2536
 現代社会学部分館 〒739-0302 広島市安芸区上瀬野町517-1 TEL (082)820-3751
 自動車短期大学部分館 〒739-0302 広島市安芸区上瀬野町517-1 TEL (082)820-3541
 図書館ホームページ <http://office.hkg.ac.jp/~toshokan/>

平成19年度

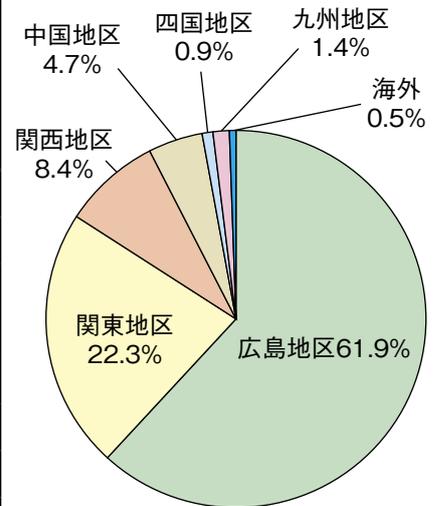
広島国際学院大学進路状況

平成20年3月19日現在

- ・ 厳しい国際競争のもとで企業が求める「目的達成能力」、「問題解決能力」のある人材の育成に努めています。
- ・ 従来から元気で実践力のある学生を育てており、実社会での活躍が評価され近年約34倍以上の求人倍率を得て、高い就職率を達成しています。
- ・ 就職模擬試験をはじめ面接・作文の指導など、学生の就職活動を就職課と教員がきめ細かくサポートします。

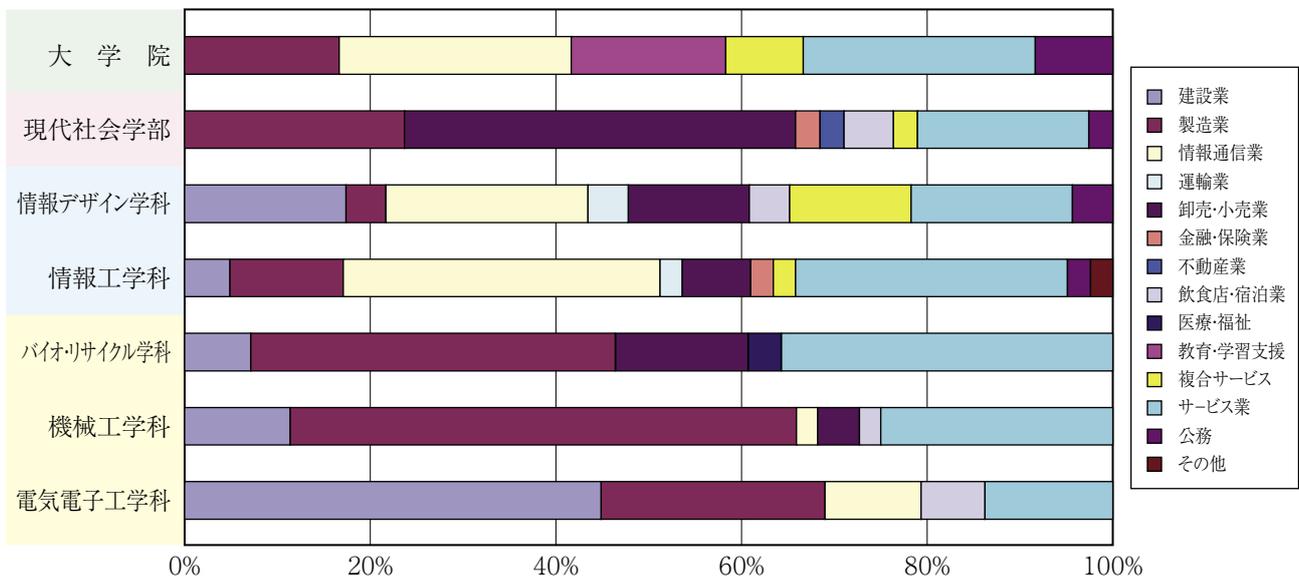
進路状況

項目	電気電子工	機械工	バイオ・リサイクル	工学部計	情報工	情報デザイン	情報学部計	現代社会学部	大学計	大学院	
卒業・修了者総数(人)	34	48	38	120	53	33	86	51	257	14	
進学(人)	-	-	9	9	4	2	6	-	15	1	
就職希望者数(人)	31	45	28	104	45	26	71	46	221	13	
採用内定者数(人)	29	44	28	101	41	23	64	38	203	12	
就職率	93.5%	97.8%	100%	97.1%	91.1%	88.5%	90.1%	82.6%	91.9%	92.3%	
就職率(前年度)	97.8%	94.5%	-	93.5%	93.8%	-	93.8%	91.8%	93.1%	69.2%	
求人状況	会社数	1,979	1,964	1,755	2,036	1,756	1,710	1,759	1,585	2,063	810
	求人数	2,017	2,008	1,755	5,780	1,761	1,710	3,471	1,586	10,837	861
	求人倍率	65倍	45倍	63倍	56倍	39倍	66倍	49倍	34倍	49倍	66倍



地区別就職先

業種別就職状況



平成19年度

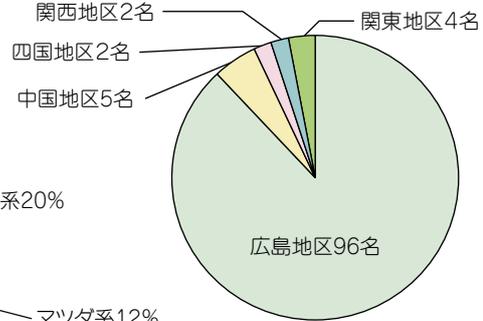
広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

平成20年3月19日現在

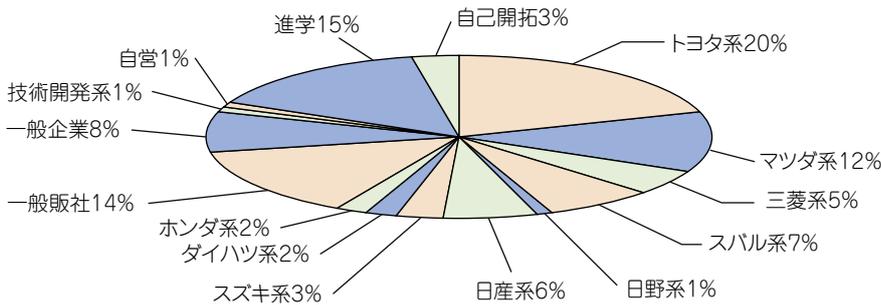
進路状況

卒業生数	112名
就職決定者/希望者	92名/92名
進学決定者/希望者	17名/17名
自己開拓	3名

地域別進路状況



卒業生の進路内訳



平成19年度

広島国際学院高等学校卒業生進路状況

平成20年3月19日現在

学 科	性 別	在 籍	進 学				就 職					
			大 学	短 大	専 門	未 定	県 内	県 外	公 務 員	自 営	自 己	未 定
総合システム科	男	71	37	6	11	2	12	1	1		1	
	女	28	4	3	8		6	1		1	5	
普 通 科	男	157	106	5	18	20	3	1	2		2	
	女	178	75	35	44	12	7				5	
合 計		434	222	49	81	34	28	3	3	1	13	0
		%	88.9				11.1					

大学・短期大学 合格先

	大 学	短 期 大 学
中 国	島根大、山口大、高知大、広島市立大、下関市立大、エリザベト音楽大、呉大、比治山大、広島経済大、広島工業大、広島国際学院大、広島国際大、日本赤十字広島看護大、広島修道大、広島女学院大、広島文教女子大、福山平成大、福山大、安田女子大、岡山理科大、吉備国際大、倉敷芸術科学大、就実大、徳山大、松山大	山陽女子短大、比治山大学短期大学部、鈴峯女子短大、広島国際学院大短大、広島文化短大、安田女子短大、岩国短大、順正短大、川崎医療短大
その他	静岡大、鹿屋体育大、釧路公立大、前橋工科大、北九州市立大、福岡県立大、東京国際大、国土館大、拓殖大、帝京大、創価大、早稲田大、中央大、立教大、青山学院大、東京経済大、金沢工業大、名古屋商科大、京都外国語大、京都学園大、京都橋大、京都産業大、立命館大、龍谷大、関西学院大、近畿大、関西外国語大、大阪芸術大、大阪国際大、大阪経済法科大、大手前大、甲南大、甲南女子大、神戸学院大、福岡大、第一福祉大、久留米工業大、九州国際大、九州産業大、防衛大学校	国立波方海上技術短期大学校、淑徳短大、神戸女子短大

専門学校 合格先

広島市立看護専門、国立病院機構呉医療センター附属看護学校、IGL医療専門、穴吹デザイン専門、国際トリニティカレッジ、広島ウェルネススポーツ専門、広島コンピュータ専門、小井手学園広島ファッションビジネス専門、広島医療保健専門、広島会計学院、広島外語専門、広島県理容美容専門、広島工業大学専門、広島福祉専門、広島市医師会看護専門、広島情報ビジネス専門、広島脳心調理師専門、広島製菓専門、広島高等歯科衛生士専門、広島電子専門、広島デンタルアカデミー専門、広島ビジネス専門、広島YMCA国際ビジネス専門、広島美容専門、マインドビューティカレッジ、総合学園ヒューマンアカデミー、国立病院機構岩国医療センター附属看護学校、CAC医療技術専門、岩国YMCA国際医療福祉専門、麻生工科デザイン専門、音響芸術専門、東京アナウンス学院、日本工学院専門、ESPエンタテインメント、出雲高等技術専門、中日本航空専門、大阪アニマル&オーシャン専門、大阪医療技術学園専門、大阪法律専門、京都伝統工芸大学校、関西ビューティプロ専門、大阪医専、駿台観光&外語専門、辻製菓専門、ビューティーアート専門、大阪外語専門、大阪航空専門、辻学園調理・製菓専門、神戸医療福祉専門、旭川厚生専門、岡山労災病院附属看護専門、国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護学校、松江医療福祉専門、パンタンデザイン研究所、福岡医療専門

主な就職先

(株)ヤマダ電機、西條商事(株)、(株)あすか、(株)伯和、マツダ(株)、(株)光友商企、(株)エイベックス、日新工機(株)、(株)キーレックス、(株)ワイテック、(株)今仙電機製作所、スタンレー電気(株)、(株)ナガイバン、広島伊丹電気(株)、新明和工業(株)、田中電機工業(株)、(株)シーエックスアル、ダイキョーニシカワ(株)、ダイハツ工業(株)、(株)エクセディ、日本梱包運輸(株)、日本通運(株)、(株)イデオ、(株)日本バーカーライジング、(株)東洋シート、(株)かなわ



森英子先生を偲んで

名誉学院長 西本 五郎

永年にわたり本学院に多大なご支援をいただいた森英子先生が、去る2月19日ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の誠を捧げます。

かつて広島大学に森新治郎先生という数学の教授がおられました。昭和39年4月に創立した我が広島電機学園短期大学に、初代学長の勝盛豊一先生とのご縁で就任され、学生の教育にご努力頂きました。森英子先生は新治郎先生のご息女です。大学をご卒業後、鈴峯女子短期大学に約30年間勤務され、家庭科の教授として教育と研究に尽瘁されました。また、姉婿にあたる桑原改造先生も本大学に長年勤務され、第5代学長として重責を全うされました。

森英子先生はご尊父ならびに姉婿と本学院とのご縁に感謝され、平成2年から今日まで多額の浄財を寄付くださいました。現在、これらの寄付金は学生の勉学支援や教員の研究奨励に活用され、本大学に貢献すること実に多大であります。人徳溢れるかけがえのない先生を不慮の事故で失いましたことは実に痛恨の極みで、哀惜の情も一入です。今はただ森先生のご冥福をお祈りするばかりです。(合掌)

3町商工会青年部研修会・懇親会

工学部 総合工学科 准教授 内海 能亜

2007年12月1日(土)、船越町・海田町・坂町の3町商工会青年部と本大学との合同研修会が行われました。参加者は合計33名、学内企業カレイドスコープの学生3名も参加しました。研修会の内容は、1)「産学連携の紹介」山



カレイドスコープの発表



懇親会

寄先生 2)「情報デザイン学部の紹介」池坊先生 3)「学内ベンチャー企業(カレイドスコープ)の取り組み」代表山根君 4)「協調的交渉とは？」栗原先生 5)「遺伝子実験室の見学」新川先生でした。また、その後の意見交換会では、カレイドスコープの詳細内容や情報デザイン学部と共同研究について、商工会側から質問が挙がりました。さらに懇親会では、学生らの力強い発表の姿勢を見て、3町の皆様から「学生から仕事の活力をもらった」とのお褒めの言葉をいただきました。

私は、彼ら学生のたくましい息づかいを感じ、そして、誇らしい気持ちでいっぱいになりました。これからも、学生と地域産業界との繋がりを多く設ける必要があり、地域に愛される大学を目指していきたいと思います。



研修会



意見交換会

速報：迫学部長、テレビにレギュラー出演

広島テレビで4月に始まるローカルワイド番組「旬感☆テレビ派ッ！」に、現代社会学部の迫勝則学部長がコメンテーターとして毎週木曜に出演します。是非ご覧ください。 放映時間 16:43～19:00

★ 今後の主な行事予定

大学・短大 入学宣誓式 (4/5) 学内ガイダンス (工・情4/7～10 現4/7～9)
学友会主催新入生歓迎会 (サークルオリエンテーション) (4/8)
前期授業開始 (工・情2～4年 4/9 1年 4/11 現4/10 短2年 4/8 1年 4/11)
初年次教育 (工・情・短4/9～10)
高校 始業式 (4/7) 入学式 (4/8) 新入生集団合宿 (5/16～20) 体育祭 (6/14)

この広報誌はホームページでご覧になれます。

<http://office.hkg.ac.jp/~kikaku/kouhou/>